

取付設置説明書

ガスビルトインコンロ

型 式 名

DG32V3WT・DG32V3V

誤った機器の設置を行った場合の危害・損害の程度を、次のように区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。



禁止



必ず守る



分解禁止

設置される方へ（この「取付設置説明書」を設置前に必ずお読みください。）



設置するときは、可燃物との距離を確実に離す

必ず守る 火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。
距離が近いと、火災の原因になります。

周囲の壁が不燃材料以外（タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む）で、トッププレートに貼り付けの防火性能評定品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。
どうしても設置しなければならない場合は、必ず弊社指定の防熱板（別売部品）を取り付けてください。
弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。
※壁の構造が確認できなかった場合は、必ず弊社指定の防熱板を取り付けてください。→3～4ページ

・下記に応じて設置を行ってください。

- (1) ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 → 1～9ページ、15～16ページ
- (2) ビルトインタイプガスオープンとセットで設置する場合 → 1～4ページ、10～16ページ



機器を安全にご使用いただくため、この取付設置説明書をよく読んでから、有資格者による指定された設置を行う
建築基準法、当該地区の市、町、村の条例、消防法、ガス事業法液化石油ガス法「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う



トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズをつけない
ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。また火災、損傷事故の原因になります。



機器の上には絶対にのらない。また、ガラスに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけない
ごときの変形やトッププレートのガラス破損につながり、異常過熱や火災の原因になります。



設置するときは、手袋をはめて行う

必ず守る 機器の突起物などでけがをする原因になります。



設置で必要なところ以外は絶対に改造、分解は行わない

分解禁止 一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、火災の原因になるおそれがあります。



お願い
・乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを「点火の状態」で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
・乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- ・この取付設置説明書に基づいて、設置されていることを確認してください。
- ・設置が終了したら、16ページの「チェックリスト」に基づいて、必ず再確認してください。
- ・この取付設置説明書の記載内容から外れた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- ・設置終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入し、必ずお客さまに渡してください。
- ・取扱説明書に従って、お客さまに機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。
- ・この機器は国内専用です。海外では設置できません。



59276400

○もくじ

同こん部品	2
各部のなまえ	2
設置前の注意	3
設置場所の確認	3~4

機器の設置	5~13
ビルトインコンロ単体で設置する場合	5~9
ビルトインコンロとビルトインタイプ	
ガスオープンセットで設置する場合	10~13
ガス接続、ガス配管工事	14~15
設置後の点検確認	16
試運転	16

同こん部品

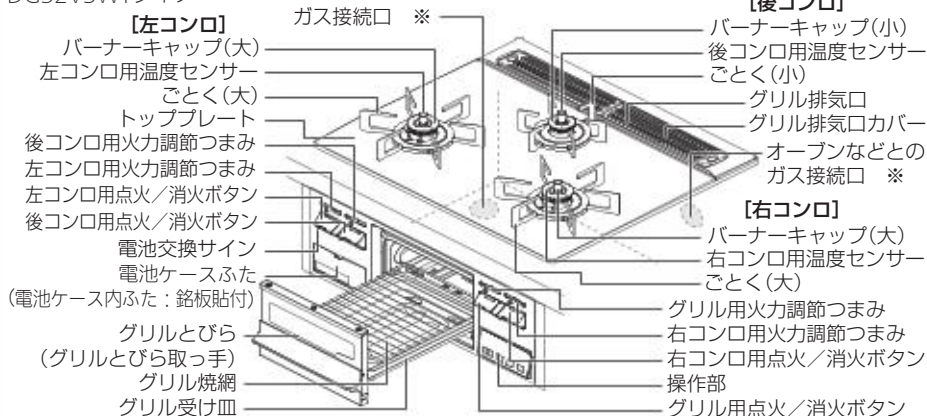
◎同こん部品、付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部 品 名	形 状	個数	部 品 名	形 状	個数
バーナーキャップ(大) ＜左右コンロ用＞		2	グリル受け皿		1
バーナーキャップ(小) ＜後コンロ用＞		1	トッププレート 固定用ネジ×2		1
ごとく(大) ＜左右コンロ用＞		2	お試し用乾電池 (単1形マンガン乾電池)		2
ごとく(小) ＜後コンロ用＞		1	取扱説明書(保証書付) 取付設置説明書		各1
サイドモール		2	検圧口ネジ用 アルミパッキン	 検圧口ネジ用アルミパッキンは、ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。	1
グリル排気口カバー		2			
グリル焼網		1			

各部のなまえ

DG32V3WTタイプ



・イラストはDG32V3WTタイプ。DG32V3Vタイプについては、操作部が異なります。

※ガス接続口の位置を示す。(透視図)

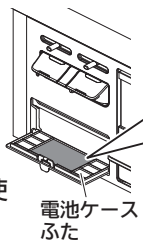
設置前の注意

◎設置する機器の確認

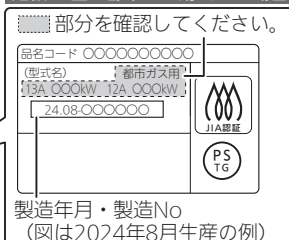
- ・設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

⚠注意

- ❗ **銘板(電池ケースふた裏面に貼付)に表示してあるガスに適合していることを確認する**
火災、不完全燃焼、異常点火のおそれや、機器が故障する原因になります。
- ❗ **ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する**
爆発や不完全燃焼の原因になります。
- ❗ **この機器は家庭用の調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する**
火災、不完全燃焼、機器の故障の原因になります。



銘板 ※図は都市ガス用13Aの場合



設置場所の確認

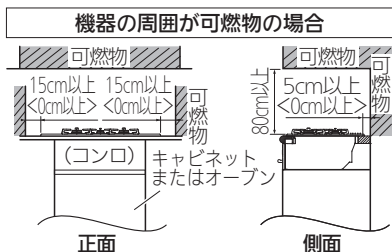
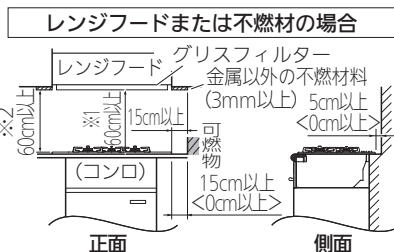
◎防火上の離隔距離

- ・機器を設置する周囲の壁などが防火上安全な場所か、または防火上有効な間隔を確保することができるところに設置してください。
- ・この機器は防火性能評価品です。

⚠注意

- ❗ **周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する**
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。
距離が近いと、火災の原因になります。

- ・周囲の壁が不燃材料以外(タイルやステンレスなどを貼り付けた可燃性の壁も含む)で、トッププレートに貼り付けの防火性能評価品ラベルに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
可燃性の壁に直接タイルやステンレスを貼り付けた場合でも、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災のおそれがあります。



※< >内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。

※2 不燃材料がない場合もしくは、金属以外の不燃材料の厚みが3mm未満の場合は、80cm以上。

◎どうしても設置しなければならない場合や、壁の構造がわからない場合は、必ず弊社指定の防熱板(別売部品)を取り付けてください。

弊社指定の防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

注意



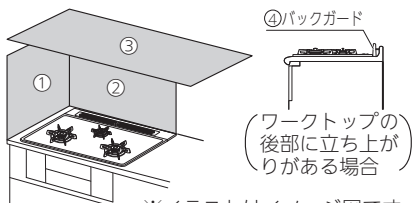
防熱板(別売部品)は、必ず指定のものを使用する

必ず守る 防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けしないと、火災の原因になります。

- ・防熱板は4種類用意しています。
- ・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
- ※取り付け方法は防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

コード番号	高さ(mm)	奥行(mm)	幅(mm)
① 0706528(DP0128)	590	—	535
② 0706530(LP0130)	590	—	600
③ 0702056(LP0107)	—	550	900
④ 0705477(DP0101)	90	—	600

※④はワークトップ後部の立ち上がり用



※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは販売店に、防熱板に関するご不明点は、弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

- ・設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

注意



設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する

必ず守る 他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。



設置場所を決めるときは、お客さまとよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物、可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する



水平で丈夫な場所に設置し、ガタツキがないことを確認する



保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する

必ず守る 設置後、トラブルの原因になったり、点検、修理に支障をきたします。



引火性の危険物(ガソリン、灯油、ベンジン、接着剤など)や、業務用薬品(アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品)を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない



ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する



棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない

火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。



この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置しない

著しく機器の寿命が短くなります。



キャビネットを背板などでふさぐ

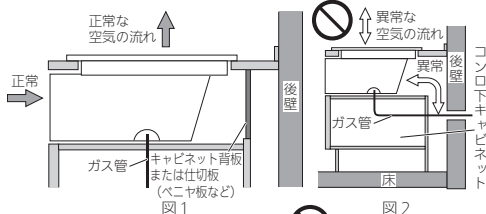
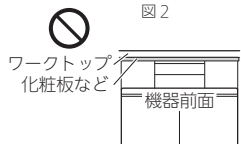
必ず守る ・コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどでふさいでください。(図1) コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが生じる場合があります。(図2) コンロの炎がゆらいだり、消えたり、異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

※仕切板セット(0513B01(DP0723)、0513C01(DP0724))を用意しています。仕切板セットのお求めは販売店に、仕切板に関するご不明点は弊社窓口(取扱説明書の裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。



ワークトップの前面部と機器本体上面との間を化粧板などで閉塞しない

不完全燃焼の原因になります。

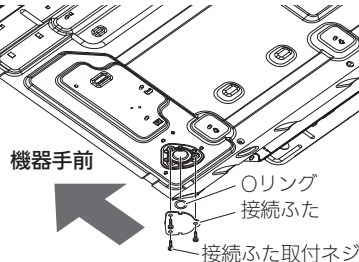
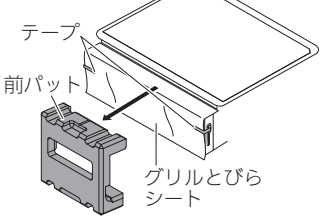
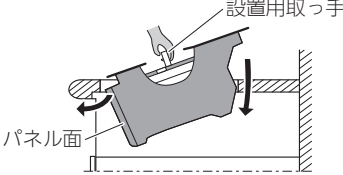
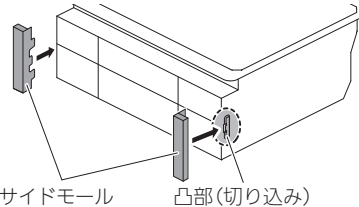
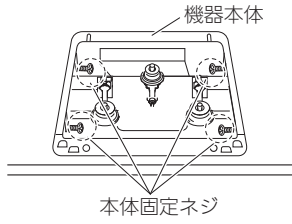


- ・上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。

- ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。
- ・奥行き600mm以上のワークトップに設置する。

— 5 —

[機器本体の取り付け(コンロ単体設置)]

作業手順	説明図
<p>1. 機器側ガス接続口の接続ふたの取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> 機器底部左奥側のガス接続口に取り付けてある接続ふた(ネジ3本)とOリングを取り外す。 <p>《取り外した接続ふた、接続ふた取付ネジ、Oリングは不要。》</p>	<p>ガス接続口位置は2・5ページ参照</p> 
<p>2. 前パットの取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> 前パットを手前に引き抜く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>お願い</p> <p>・グリルとびらシート、テープは、機器本体のはめ込みが終わるまで、取り外さないでください。 取り外すと、グリルとびらや操作部が開き、設置時にキズがついたり、破損する原因になります。</p> </div>	
<p>3. 機器本体のはめ込み</p> <p>①機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込む。</p> <p>※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。</p> <p>※機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒してください。</p> <p>②「2. 前パットの取り外し」で取り外していない残りの包装材料(グリルとびらシート、テープ)を取り外す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>絶対にガス配管やバーナーなどを持たない <small>禁止</small> ガス漏れや異常燃焼の原因になります。</p> </div>	
<p>4. サイドモールの取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> サイドモールを機器本体前部両サイドの凸部(切り込み)にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込む。 <p>《サイドモールの取り付け忘れ注意!》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、機器本体のみにしています。</p>	
<p>5. 機器本体の固定</p> <p>①機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めをする。</p> <p>②機器本体側面の本体固定ネジ(4本)でワークトップに固定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>本体固定ネジを締め込みすぎない <small>禁止</small> ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、トッププレートが浮く原因になります。</p> </div>	

トッププレート取り付け前、必ず確認する

注意



バーナーキャップは必ず取り外す

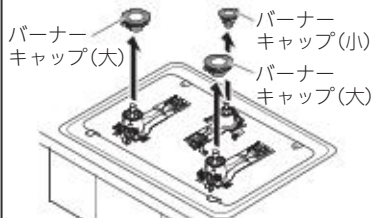
必ず守る バーナーキャップを取り外さずにトッププレートの取り付けを行うと、破損の原因になります。

作業手順

説明図

1. バーナーキャップの取り外し

- ・トッププレートを取り付ける前にバーナーキャップを外す。



2. トッププレートの取り付け

注意



取り扱うときは、手袋をはめて行う

必ず守る



外装箱からトッププレートを取り出すときなど、取り扱い時はトッププレートの開口部に手を入れて持ち運ばない

禁止

トッププレートが変形したり、裏面の金属部品などでけがをすることがあります。

- ① トッププレート後部に貼り付けているトッププレート固定用ネジAを取り外す。
(ネジAは、③で使用。)
- ② トッププレートを水平に保ちながら機器本体にかぶせる。
バーナーリングとバーナーを合わせながら、点火プラグや立ち消え安全装置にのり上げ、傷つけないよう注意してトッププレートを取り付ける。
トッププレート裏面突起部がトッププレート固定パネに固定されるようトッププレート手前部を押さえる。
- ③ ①で外したトッププレート固定用ネジAで、トッププレートを機器本体後部に固定する。

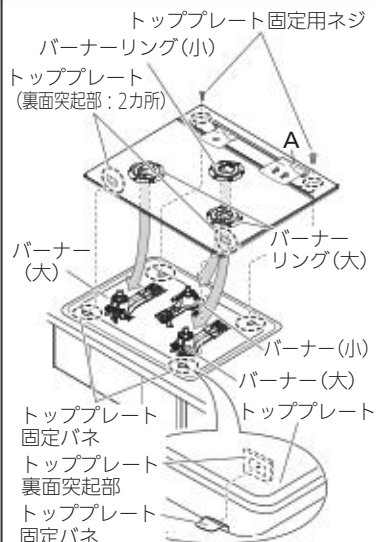
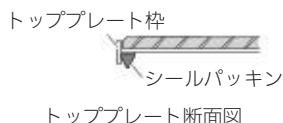
《必ず手動ドライバーを使用！》

※電動ドライバーは、ネジが利かなくなります。

※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。

お願い

- ・トッププレートの取り付けは確実に、浮きがないことを確認してください。
- ・トッププレート枠下部周囲に取り付けられているシールパッキンが外れていないか確認してください。
- ・トッププレートの表面に汚れ、キズなどがなければ確認してください。
- ・トッププレート表面に指紋などが付着した場合は、台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかいものでふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。



3. バーナーキャップ、ごとくの取り付け

- ・バーナーキャップ取り付け後、ごとくを正しく取り付ける。

◎バーナーキャップの取り付けかた

- ・バーナーキャップのツメ部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付ける。

《点火プラグ、温度センサーに衝撃をあたえないようにする。》

◎ごとくの取り付けかた

- ・ごとくのツメが機器の前後に対して一直線になる方向に合わせ、ごとく裏面の凸部(6カ所)を、バーナーリングの凹部(6カ所)に入れて、浮きがないように取り付ける。

▲注意



必ず守る

バーナーキャップは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、

- ・点火しない場合があります。
- ・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
- ・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
- ・機器寿命が短くなるおそれがあります。

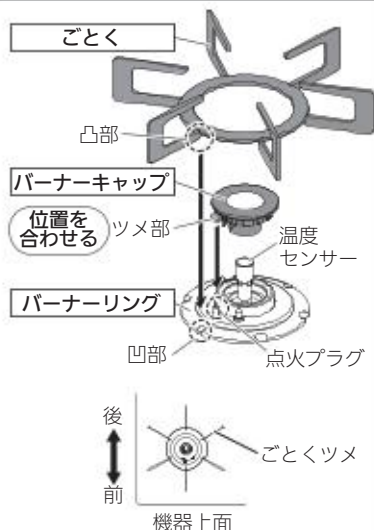


必ず守る

ごとくは正しく取り付ける

誤った取り付けかた(浮き、裏返し、ズレなど)で使用する、鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりし、やけど、点火不良、不完全燃焼、変形の原因になります。

また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートにキズがついたり、ガラスが割れる原因になります。

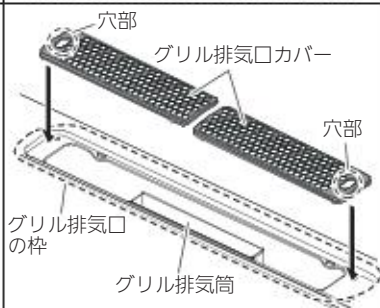


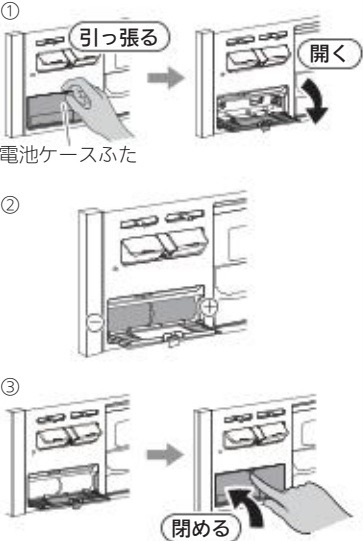
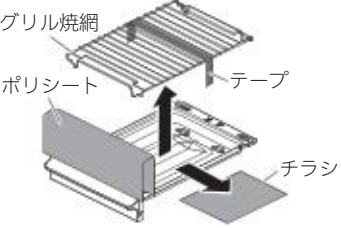
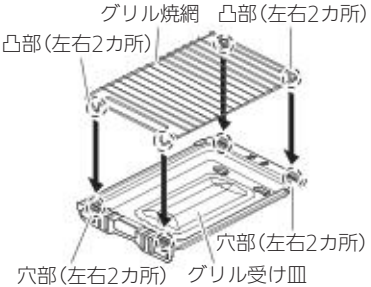
4. グリル排気口カバーの取り付け

※グリル排気口カバーを正しく取り付けないと、グリル使用時に焼け足りなかったり、焼きムラの原因となります。

必ず正しく取り付けてください。

- ・グリル排気口カバーの穴部を端に向けて、グリル排気口の枠に合わせて取り付けます。



作 業 手 順	説 明 図
<p>5. 乾電池の取り付け</p> <p>・お試用乾電池(単1形マンガン乾電池)を2個使用する。</p> <p>[電池ケースふたの開けかた]</p> <p>①電池ケースふたのつまみを引っ張り、矢印の方向に開ける。</p> <div data-bbox="120 252 645 395"> <p>お願い</p> <p>・電池ケースふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。また、無理な力を加えないでください。電池ケースふたが、破損する原因になります。</p> </div> <p>[乾電池の取り付けかた]</p> <p>②乾電池の⊕を確かめ、乾電池を組み込む。</p> <div data-bbox="120 467 645 595"> <p>注意</p> <p> 乾電池の組み込む方向⊕を間違えない 間違えると使用できません。また、発熱や液漏れの原因になります。</p> </div> <p>[電池ケースふたの戻しかた]</p> <p>③電池ケースふたを元通りに閉める。</p> <div data-bbox="120 659 645 786"> <p>お願い</p> <p>・電池ケースに水や異物が入った場合は、ふき取ってきれいにしてください。電池機能不良の原因となります。</p> </div>	 <p>① 引っ張る → 開く</p> <p>電池ケースふた</p> <p>②</p> <p>③ 閉める</p>
<p>6. グリル内包装材の取り外し</p> <p>・グリルとびらを引き出し、グリルとびらのポリシート、テープ、チラシを取り除く。 ※チラシはお客さまにお渡しください。</p> <div data-bbox="120 930 645 1082"> <p>注意</p> <p> グリル内包装材は必ず取り除く グリル内包装材を取り除かずにお客さまが機器を使用すると、グリル内包装材が燃えて火災の原因になります。</p> </div>	 <p>グリル焼網</p> <p>ポリシート</p> <p>テープ</p> <p>チラシ</p>
<p>7. グリル焼網の取り付け</p> <p>・グリル焼網の凸部(前後、左右4カ所)をグリル受け皿の穴部(前後、左右4カ所)に入れて、取り付ける。</p> <p>※イラストはわかりやすくするため、グリル焼網、グリル受け皿のみにしています。</p> <div data-bbox="120 1265 645 1433"> <p>お願い</p> <p>・グリルとびらが閉まりにくい場合やこすれる音がした場合は、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けられていません。そのまま押し込むと、変形や損傷の原因になりますので、再度正しく取り付け直してください。</p> </div>	 <p>グリル焼網 凸部(左右2カ所)</p> <p>穴部(左右2カ所)</p> <p>穴部(左右2カ所) グリル受け皿</p>

※ガス配管工事については、15ページ「ビルトインコンロ単体で設置する場合」を参照してください。

『ビルトインコンロとビルトインタイプガスオーブンをセットで設置する場合』

- 〈使用する工具：プラスドライバー、ニッパー〉

「標準設置図、機器寸法図」

※DG32V3Vタイプについても、操作部が異なりますが、設置寸法は同じです。

※オープン設置寸法は、オープン側の「取付設置
説明書(工事説明書)」を参照してください。

Technical drawing of the built-in gas cooktop and oven unit, showing dimensions and gas connection details.

Top View Dimensions:

- Overall Width: 590
- Overall Depth: 509
- Distance between burner centers: 330
- Distance from front edge to burner center: 175
- Distance from side edge to burner center: 143
- Distance from top edge to grill: 220

Side View Dimensions:

- Overall Height: 850
- Oven Depth: 630
- Distance from top edge to oven door: 220
- Distance from oven door to bottom edge: 51
- Oven Width: 370

Gas Connection:

- Gas connection point (R1/2) is located on the side of the oven.
- Connection to the gas supply line is shown on the right side.

、コンロ接続管
、オープンなどとの
ガス接続口
(M24)

・ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS K6903）または同等以上の材料とする。

・機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工する。

※穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

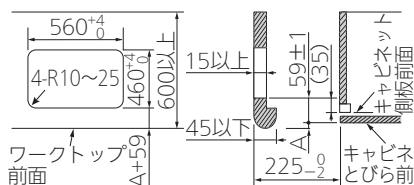
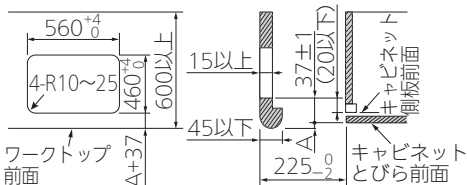
禁止

45mmを超える厚いワークトップ[※]には設置しない

ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。また、不完全燃焼の原因になります。

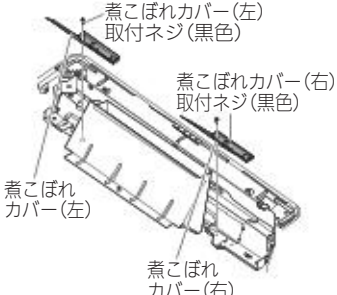
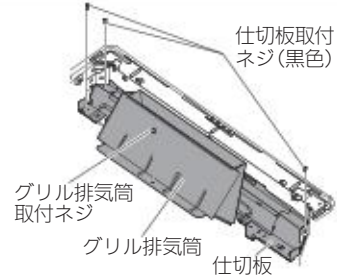
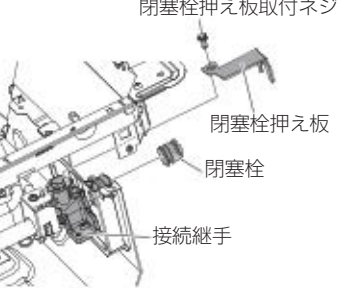
A+37穴あけ寸法

<单位: mm>

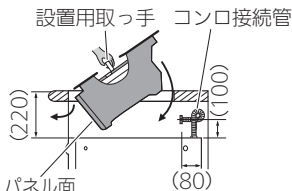
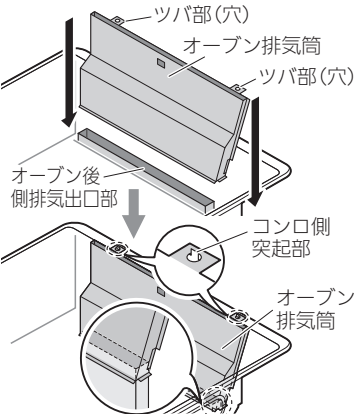
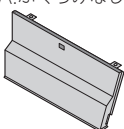
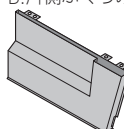
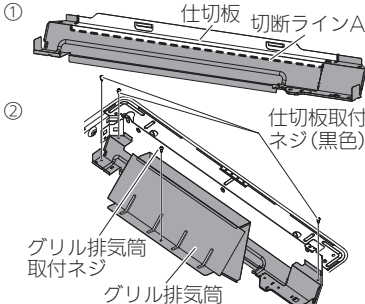


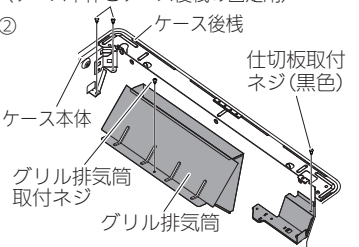
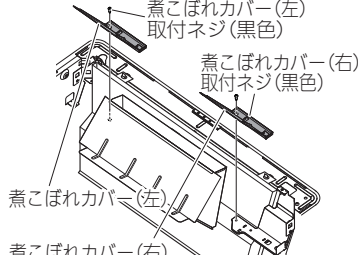
穴あけ寸法はA+59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ穴あけ寸法はA+59、(A+45)、A+37のどちらでも設置できます。

[取り付け前の準備(ガスオープンとのセット設置)]

作 業 手 順	説 明 図
<p>1. ビルトインタイプガスオープンが設置されていることを確認する</p>	<p>この作業はビルトインタイプガスオープン側に付属されている「取付設置説明書(工事説明書)」を参照し、確認する。</p>
<p>2. 煮こぼれカバー(左)(右)の取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・煮こぼれカバー(左)(右)(ネジ各1本、黒色)を取り外す。 <p>《取り外した煮こぼれカバー(左)(右)、煮こぼれカバー(左)(右)取付ネジはガス接続後、再度使用。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	 <p>煮こぼれカバー(左) 取付ネジ(黒色)</p> <p>煮こぼれカバー(右) 取付ネジ(黒色)</p> <p>煮こぼれ カバー(左)</p> <p>煮こぼれ カバー(右)</p>
<p>3. グリル排気筒、仕切板の取り外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリル排気筒(ネジ1本)、仕切板(ネジ3本、黒色)を取り外す。 <p>《取り外したグリル排気筒、グリル排気筒取付ネジ、仕切板、仕切板取付ネジはガス接続後、再度使用。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	 <p>仕切板取付 ネジ(黒色)</p> <p>グリル排気筒 取付ネジ</p> <p>グリル排気筒</p> <p>仕切板</p>
<p>4. 閉塞栓の取り外し</p> <ol style="list-style-type: none"> ①閉塞栓押え板(ネジ1本)を取り外す。 ②閉塞栓を後方へ引き抜く。 <p>《取り外した閉塞栓、閉塞栓押え板、閉塞栓押え板取付ネジは不要。》</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	 <p>閉塞栓押え板取付ネジ</p> <p>閉塞栓押え板</p> <p>閉塞栓</p> <p>接続継手</p>
<p>5. ビルトインタイプガスオープンの作業</p>	<p>ビルトインタイプガスオープン側に付属されている「取付設置説明書(工事説明書)」に従い設置する。</p>

[機器本体の取り付け(ガスオープンとのセット設置)]

作 業 手 順	説 明 図
<p>1. 前パットの取り外し</p>	<p>取り外し方法は、6ページ「2. 前パットの取り外し」を参照する。</p>
<p>2. 機器本体のはめ込み</p> <p>《機器をはめ込む前に、オープン側のコンロ接続管を右図のような形状、寸法に曲げる。》</p> <p>①機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込む。</p> <p>※はめ込み時はワークトップやパネルなどをキズつけないように注意してください。</p> <p>※オープンと機器本体が干渉していないこと、機器の浮きがないことを確認してください。</p> <p>※機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒してください。</p> <p>②6ページ「2. 前パットの取り外し」で取り外していない残りの包装材(グリルとびらシート、テープ)を取り外す。</p> <div data-bbox="112 518 638 643" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> <p>絶対にガス配管やバーナーなどを持たない</p> <p>禁止 ガス漏れや異常燃焼の原因になります。</p> </div>	<p>〈単位：mm〉</p> 
<p>3. オープンとコンロのガス接続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン側に組み付けてあるコンロ接続管をコンロ側の接続口と接続する。 	<p>接続の方法は、14ページ「ビルトインコンロとビルトインタイプガスオープンとの接続方法(コンロ接続管)」を参照する。</p>
<p>4. オープン排気筒(オープン側の付属部品)の取り付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープン後側の排気出口部に確実に差し込み、オープン排気筒上部のツバ部(穴)をコンロ側突起部に差し込む。 <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	
<p>5. 仕切板、グリル排気筒の取り付け</p> <div data-bbox="95 1228 644 1380" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>・オープンの種類によって、オープン排気筒の形状が異なる。</p> <p>・オープン排気筒によって、仕切板の切断位置が変わるので、注意する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>A.ふくらみなし</p>  </div> <div> <p>B.片側ふくらみ</p>  </div> </div> </div> <p>[オープン排気筒形状が[A.ふくらみなし]の場合]</p> <p>①仕切板を切断ラインAに沿って、ニッパーで切り取る。 《仕切板から切り取った部分は不要。》</p> <p>②元通りに仕切板(ネジ3本、黒色)、グリル排気筒(ネジ1本)を取り付ける。</p>	<p>[A.ふくらみなし]の場合</p> <p>① 仕切板 切断ラインA</p> <p>② 仕切板取付ネジ(黒色)</p> <p>グリル排気筒 取付ネジ</p> <p>グリル排気筒</p> 

作 業 手 順	説 明 図
<p>[オープン排気筒形状が[B.片側ふくらみ]の場合]</p> <p>①仕切板を切断ラインBに沿って、ニッパーで切り取る。 《仕切板から切り取った部分は不要。》</p> <p>②元通りに仕切板(ネジ3本、黒色)、グリル排気筒(ネジ1本)を取り付ける。</p> <p>※左側の仕切板取付ネジ(2本)は、ケース本体とケース後栈の固定用として取り付けてください。</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p> <div data-bbox="132 363 237 402" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⚠ 注意</p> </div> <div data-bbox="112 411 621 518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>！ 必ず守る グリル排気筒を確実に取り付ける グリル排気筒が確実に取り付けられていないまま使用すると、機器が正常に機能しない場合や、機器損傷の原因になります。</p> </div>	<p>[B.片側ふくらみ]の場合</p> <p>①  切断ラインB</p> <p>仕切板取付ネジ(黒色) (ケース本体とケース後栈の固定用)</p> <p>②  ケース後栈 仕切板取付ネジ(黒色) ケース本体 グリル排気筒 取付ネジ グリル排気筒</p>
<p>6. 煮こぼれカバー(左)(右)の取り付け</p> <p>・元通りに煮こぼれカバー(左)(右)(ネジ各1本、黒色)を取り付ける。</p> <p>※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。</p>	 <p>煮こぼれカバー(左) 取付ネジ(黒色) 煮こぼれカバー(右) 取付ネジ(黒色) 煮こぼれカバー(左) 煮こぼれカバー(右)</p>
<p>7. サイドモールの取り付け</p>	<p>取り付け方法は、6ページ「4. サイドモールの取り付け」を参照する。</p>
<p>8. 機器本体の固定</p>	<p>固定方法は、6ページ「5. 機器本体の固定」を参照する。</p>

[部品の取り付け]

作 業 手 順	説 明 図
<p>1. トッププレート、バーナーキャップ、ごとく、グリル排気口カバー、乾電池、グリル焼網の取り付け</p>	<p>取り付け方法は、7～9ページ「[部品の取り付け]」を参照する。</p>

ガス接続、ガス配管工事

◎ガス接続

・ビルトインコンロとビルトインタイプガスオープンとの接続方法（コンロ接続管）

⚠注意



コンロ接続管に O リングがついていることを必ず確認する

必ず守る

※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オープン側に予備用として O リングが入っていますので、使用してください。

※コンロ部の取り替え時は、O リングを新しいものに取り替えてください。



O リングは複数個入れない

禁止



コンロ接続管は斜めに挿入しない

禁止

※斜めに挿入すると O リングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。



固定金具のスリット穴の中に、接続継手とコンロ接続管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する

必ず守る



コンロ接続管のナットは、一定量圧縮するとそれ以上回らなくなるので無理に回さない

禁止



コンロ接続管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない

禁止

上記項目を守らなかった場合、ガス漏れの原因になります。

作 業 手 順	説 明 図
■接続部の構造	
1. オープン側に組み付けてあるコンロ接続管のナット部を矢印方向へ移動させる。	
2. 挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入する。	
3. 手じめでコンロ接続管のナットを回し、ナットツバ部と接続継手ツバ部が合うまでしめ込む。	
4. ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込む。 ※固定金具はナットのゆるみを止めるもので固定金具のスリット穴の中に接続継手とナットのツバ部が入っていることを確認してください。	

◎ガス配管工事

⚠警告



必ず守る

機器へのガス接続には専門の資格・技術を有する者が施工する

- ・都市ガス用機器の場合、ガス栓を含む、ガス栓より上流側のガス配管(ガス工作物)については、ガス事業者の定める工事資格を有する者が施工をすること。
ガス栓から機器までの接続配管についても、ガス事業者の定める工事資格者、もしくはガス機器設置スペシャリスト、ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの有資格者が施工してください。
- ・LPガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事事業開始届書」を提出する必要があります。



必ず守る

機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない(位置、口径)場合は、新設または交換をする



必ず守る

Rc1/2部分を接続の際はガスシール材を必ず使用する



必ず守る

接続、工事後のガス漏れのないことを確認する

・ガス接続方法

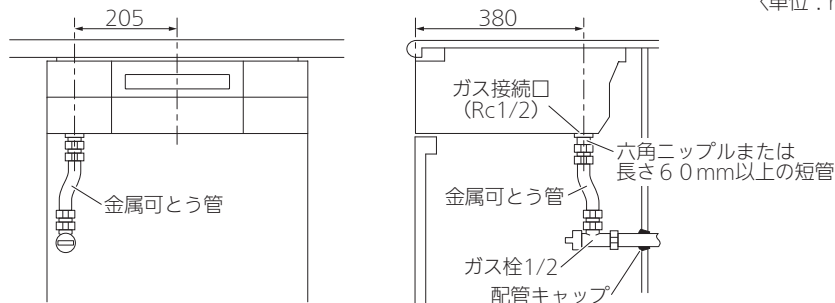
【ビルトインコンロ単体で設置する場合】

- ・ガス接続口
下側の場合：Rc1/2、右後側の場合(オープンなどとのガス接続口)：M24
- ・ガス栓より下流側のガス接続は、都市ガスの場合は、六角ニップルもしくは6cm以上の短管、または、金属可とう管を使用してください。
LPガスの場合は、経済産業省およびLP業界団体の定める接続方法で、LPおよびLIA認証品材料を使用し、工法・作業内容に応じて、有資格者による適切なガス接続作業と事務処理を実施してください。

【工法例】可とう管ガス栓と金属フレキシブルホースによるコンロへの接続など。

標準配管接続例(都市ガスの場合)

〈単位：mm〉



【ビルトインコンロとビルトインタイプガスオープンセットで設置する場合】

- ・オープン側の「取付設置説明書(工事説明書)」を参照してください。
すでにオープンが設置されている場合は、14ページの「◎ガス接続」に従ってガス接続してください。

・ガス漏れ確認方法

【機器のガス接続が完了している場合】

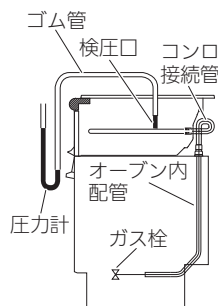
- ・検圧口(コンロとオープンセットを設置した場合は、オープンまたはコンロの検圧口)に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えたあと、ガス栓を閉めて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

【機器のガス接続ができていない場合】

- ・検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

【ガス漏れ確認終了後】

- ・検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ・ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。
- ・検圧口ネジを取り付け後に検圧口部からのガス漏れがないことを確認してください。



設置後の点検確認

- ・設置が終了したら、チェックリストに基づいて、必ず再確認を行う。

チェックリスト

点検項目		点 検 内 容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガ ス 種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	3	
	同 こん 部 品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	2・6～9 13	
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	3～4	
	設 置 条 件	障害物などとの離隔距離は十分ですか。	3～4	
	保守、管理上の空間	点検、修理に必要な空間はありますか。	4	
	水 平 設 置	水平に設置されていますか。	4	
	安 定 設 置	強固に設置され、ガタツキはないですか。	4・6	
	グ リ ル と び ら	グリルとびらはスムーズに動きますか。	9	
	シールパッキン	シールパッキンは確実に取り付けられていますか。	7	
	給 排 気	十分給排気できる場所に設置されていますか。	4	
キ ャ ビ ネ ッ ト		キャビネットに背板がありますか。 (機器後方に穴があいていないか。)	4	
ガス接続、ガス配管工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	14～15	
ラ ベ ル 貼 付		接続具の施工者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼り付けましたか。	—	
そ の 他		グリル、オープン庫内に同こん物が残っていませんか。	—	

試運転

- ・正しく設置されていることを確認してから、機器のガス栓を開き、取扱説明書の「使いかた」に基づいて点火および試運転を行う。
- ・試運転終了後、長期間使用しないときはガス栓を閉めて、乾電池を取り外す。